

大会再開にあたっての参加者全員に対する注意事項 (新型コロナウイルス感染症拡大防止対策)

◎スポーツ庁発信の「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」より抜粋

◎日本卓球協会における新型コロナウイルス感染症対策より抜粋

(一社)東京都卓球連盟

①密閉対策(開会式で注意喚起)	
換気設備の常時運転及び各扉の全開による空気の入替。(体育館により対応)	施設管理者及び役員
②密集・密接対策(開会式で注意喚起)	

○大会を開催するにあたり、会員皆様のご協力なくではできません。これらの事項を遵守して、役員の指示に従ってください。
ご理解、ご協力をお願いします。

◎「試合当日試合開始前」

◎ 当日の朝、「連絡先および健康状態申告書」(※1)を作成してください。	来場者全員
①試合当日の朝、自宅で検温。(参加者全員) 平熱か?	平熱以上 不参加 平熱以下 参加可
②試合当日、のどの痛み又はせきをしている	有 不参加 無 参加可
③大会関係者は体育館に入館されたら 館備え付けのアルコール消毒液で手指の消毒をする。	全員
④役員・選手・関係者(来場者全員)マスクを持参し、館内では着用すること。	全員
⑤役員はフェイスシールドを着用して、選手の対応をする。	役員
⑥(受 付) 大会関係者(選手も含め)、来場者全員は、ソーシャルディスタンス守り、 健康状態申告書を提出する。 選手は大会の出欠表にも代える。 団体戦においては、チーム責任者が健康状態申告書を取りまとめ受付に提出する。	全員
⑦当日検温を忘れた、申告書を忘れた人は役員に申し出る。	全員
⑧(受 付)は机を二重に置き、対面者との距離を取る。また一箇所に限らず、数か所に セットして対応する。 役員はフェイスシールドを着用する	役員
⑨役員はアリーナ内の準備、卓球台と卓球台の間は十分(4m推奨)に取るように。	役員

(※1)東京都卓球連盟ホームページより取得し、各人が事前に用意してください。

◎「試合開始前の練習」

①クロスでの練習、及びダブルスの練習は避ける。	選手
②数多くのボールを使つての練習は避ける。他の人のボールと混同するので。	選手
③卓球台、及びその他のものには触れないように注意。	選手
④むやみに手で顔(特に目、鼻、口)を触らないよう努めてください。	選手
⑤頻繁に手洗いによる除菌をし、感染予防に努めてください。尚、手拭きタオルは持参のこと。	選手

◎ 「試合開始後」

・特定の大会以外はダブルス大会はしない。当面の間シングルス大会のみとする。	選手
・対戦前後、両選手は握手はしないで、挨拶だけにする。	選手
・卓球台で手を拭く癖のある選手はその行為をしないこと。	選手
・手でむやみに顔(特に目、鼻、口)を触らないよう努めてください。	選手
・チェンジコートはしない。	選手
・ベンチコーチはアドバイス時には距離をおき密接を防いでください。	選手
・タオルは共用しない。自分専用を用意してください。	選手
・ペットボトルは他の人との飲み回しはせず、自分専用にしてください。 飲み残しをしないで、責任を持って片付ける。	選手
・大声で応援しない。拍手のみ。終了後もベンチでハイタッチ、握手を避ける。	選手
・ゲームが終わったら直ちに手洗いをしてください。(両選手・審判担当者)	選手
・試合がなければ観覧席(もしくは試合会場以外)等で待機。	選手
・試合以外はマスク着用、試合中のマスクは任意。	選手
・試合が終わったら次の試合までに、役員は卓球台の除菌をする。	役員

◎ 「大会終了後」

①ゴミ(弁当空容器、ペットボトル、紙くず等)の処理は、各自で持ち帰ってください。	全員
②忘れ物ないように各自、気をつけましょう。	全員
③グループでの懇親会・ミーティング等は、3つの密になる場所は避けること。	全員

◎ 「観客の管理」

◎ 当面の間、選手・監督以外の観戦は控えてください。	
観客席で待機しているチーム及び選手は、席が密にならないよう、注意してください。 また、大声での声援を送らないことや会話を控えること。会話をする場合はマスクを着用すること等の注意事項を守ってください。	全員

◎ 「日常生活」

<p>* 普段の生活から皆様ひとりひとりが、咳エチケット、手洗い等の予防を徹底し、「密閉、密集、密接」の3つの密が重なる場所を避けてください。</p> <p>* マスク着用をするため、熱中症には各人が水分補給等して注意すること。</p>
--

◎ 日本卓球協会発信

<p>※ 6月9日 ガイドライン修正</p> <p>卓球台、ボールの消毒についての記載を修正致しました。</p> <p>1.(2) 5)⑥ および 2.(5) 2) ② 次亜塩素酸水: 効果が不明確であり、現時点では推奨致しません。台所用合成洗剤または住宅・家具用洗剤(界面活性剤を含む製品)を希釈して消毒に用いる場合は、卓球台、ボールにより影響が異なるため、各メーカーのホームページを参照するかメーカーにお問い合わせ下さい。</p> <p>頻回の手洗いによる除菌、感染予防に努めて下さい。</p> <p>1.(2) 6)⑧ 練習の合間に手洗いによる除菌を行い、感染予防に努めて下さい。</p> <p>現在のところ、卓球台、ボールに適用可能となる完璧な消毒方法は判明しておりません。このため以下の対応をお願いします。練習中は、卓球台、ボールに触れた手で顔(特に眼、鼻、口)を触らないように努めて下さい。ウイルスが手に付着しても顔に触れないようにすることにより感染のリスクを低下させられます。</p> <p>また、手についたウイルスは、練習の合間の手洗いにより除菌することが出来ます。</p>
